



日立一高ラグビー部OB会 会報

<http://www.ichiko-rugby-obc.com>

○日立一高ラグビー部「創部70周年記念ポロシャツ」を好評発売中！！

いよいよ、来年7月17日（日）の創部70周年記念事業まで、あと9か月となりました。

詳細は、OB各位への通知やホームページ等で随時お知らせしていますが、現在、事業の一環として作成した「創部70周年記念ポロシャツ」を、好評販売中です。（現役＝高校生・中学生には既に配布済みです。）

このポロシャツは、OB・現役等の絆を深め、創部70周年への機運を高めることを目的とするほか、売上は記念事業の運営資金に充当しますので、事業の成功に向けてぜひ購入にご協力ください。

【規格】色：黒字に黄色文字

サイズ：S・M・L・LL（やや大きめです。）

【申込先】

黒沢祐士：kuro7890@ybb.ne.jp（Eメール）

関 裕之：050-8012-1100（店舗FAX：ワイルド・フラワーズ）

木下俊雄：その他、試合会場、OB会行事等で

【申込方法】

上記の申込先に、お名前（できれば卒業年度・回次も）、サイズ、着数、携帯連絡先をご連絡ください。



○平成27年度 学年幹事会 開催報告

前年度の事業報告や本年度の事業計画等を審議する学年幹事会を7月4日（土）に出席者32人（役員・学年幹事30人、賛助会員2人、ほか委任状提出40人）で開催しました。

議事については、

1. 「平成26年度事業報告及び決算・平成27年度事業計画及び予算について」を原案通り承認。
2. 「創部70周年記念事業の進捗状況について」を事務局から説明

1. 昨年度決算中、年会費については、昨年度「年2,000円以上」を「年3,000円以上」に引き上げ、納入者の減少が懸念されるところでしたが、一昨年度より納入者は「118人⇒135人」、納入額も「416千円⇒669千円」と増加しました。

現役部員は、高校15人（3年：6人、2年：8人、1年：1人）と厳しい状況ですが、今年度は3年生全員が秋まで活動を続けるとの嬉しい報告が多辺田監督からありました。

附属中は22人（3年：10人、2年：4人、1年：8人）で、推薦枠ではありますが関東大会初出場を果たすなど、順調に成長しています。

2. 創部70周年記念事業については、これまでOB宛通知等でもお知らせしましたように、平成28年7月17日（日）に開催し、記念式典・祝賀会（ホテル天地閣）、記念招待試合（OB・高校・中学とも栃木県立佐野高校と対戦：市民運動公園陸上競技場）、記念誌発行（過去10年間を中心に編集）、記念ポロシャツ作成・販売、等々の準備を進めています。

OB等負担金（寄付金）は、9月18日現在で249万円の納付をいただいておりますが、今後も当面の目標額である350万円に向けて更なるご協力を呼びかけるとともに、事業の成功に向けてさらなる上乗せを目指してまいります。OB・関係者の皆様には引き続きご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

1. 平成26年度活動報告

1-1 主な支出の状況（実支出額）

（単位：千円）

	予算	決算	比較	内 容
1) 学年幹事会	42	41	-1	26人参加
2) 役員会	10	24	+14	70周年記念事業実行委員会
3) OB会報発行	146	150	+4	10月に第17号を発行
4) 各大会への資金援助	120	80	-40	県総体、関東合同チーム大会なし
5) 菅平遠征への資金援助	50	50	0	
6) 菅平への指導員派遣	30	36	+6	
7) ミニ合宿への資金援助	60	50	-10	秋（会瀬）3日、春（習志野）2日
8) ゴルフコンペの開催	10	9	-1	通知発送等費用
9) 蹴初め・新年会開催	20	34	+14	OB戦・豚汁及び役員等新年会
10) OB吉野俊郎氏講演会	0	40	+40	交通費・宿泊費等
11) 慶弔費	20	15	-5	OB渡辺氏葬儀、萩谷くん見舞い
12) 事務費	50	147	+97	事務用品購入、郵送料（70周年含）
13) 高校生活動支援	100	119	+19	ユニフォーム補助、ストレッチ・トレーニング補助
14) 附属中活動支援	30	146	+116	練習ジャージ・ボール購入等
15) " 関東大会出場補助	0	50	+50	
16) その他	12	8	-4	父母会との交流
計	700	999	+299	予算枠を超過

1-2 主な収入の状況（懇親会参加費、御芳志、預金利子等を除く。）

（単位：円）

	年会費（納入者）		広告料（納入者）		計
	金額	納入者	金額	納入者	
平成19年度	455,000	101人	—	—	455,000
平成20年度	430,000	125人	260,000	15件	690,000
(略)					
平成24年度予算	380,000	110人	220,000	12件	600,000
" 決算	388,000	106人	205,000	11件	(99%) 593,000
平成25年度予算	400,000	120人	240,000	14件	640,000
" 決算	416,000	118人	175,000	11件	(92%) 591,000
平成26年度予算	450,000	130人	215,000	12件	665,000
" 決算	669,000	135人	207,000	12件	(132%) 876,000

1-3 会計報告（収支総額）

（単位：千円）

	予算（円）	実算（円）	増減（円）
前年度繰越	171,607	171,607	0
当年度収入	880,000	906,048	26,048
当年度支出	880,000	1,042,378	162,378
次年度繰越	171,607	35,277	△136,330

2. 平成27年度 事業計画及び予算

2-1 重点方針

(1) 現役の活動支援

OB集合日・菅平合宿等における指導及び活動費補助、監督・顧問との連携強化

(2) 部員拡大の支援

一昨年度のDVD作成に続く、新たなPR手法を検討する。

(3) 創部70周年記念事業の推進

2016年（平成28年）7月17日の記念事業に向けて、実行委員会の各部会を中心に企画及び準備を進める。

2-2 支出の部

(単位：千円)

	H26 決算	H27 予算	内 容
1) 学年幹事会	41	40	
2) 役員会	24	20	70周年記念事業実行委員会
3) OB会報発行	150	150	10月に第17号を発行予定
4) 各大会への資金援助	80	80	4大会×2万円
5) 菅平遠征への資金援助	50	50	
6) 菅平への指導員派遣	36	30	
7) ミニ合宿への資金援助	50	50	秋(会瀬)2泊、春(習志野)1泊
8) ゴルフコンペの開催	9	8	開催通知等
9) 職初め等の交流・親睦行事	34	30	OB戦、ハーフマラソン、新年会等
10) 部員意識啓発	40	30	(H26はOB吉野氏の講演会)
11) 慶弔費	15	15	
12) 事務費	147	100	事務用品購入、郵送料等
13) 高校生活動支援	119	150	ストロング・ストレーミング補助
14) 附属中活動支援	146	120	ジヤージ・備品等補助
〃	50	—	(H26は関東大会出場補助)
15) 予備費	8	7	
計	999	880	前年比 -119千円

2-3 収入の部（懇親会参加費、御芳志、預金利子等を除く。）

(単位：円)

	年会費（納入者）		広告料（納入者）		計
	金額	納入者	金額	納入者	
平成24年度予算	380,000	110人	220,000	12件	600,000
〃 決算	388,000	106人	205,000	11件	593,000
平成25年度予算	400,000	120人	240,000	14件	640,000
〃 決算	416,000	118人	135,000	7件	551,000
平成26年度予算	450,000	130人	215,000	12件	665,000
〃 決算	669,000	135人	207,000	12件	876,000
平成27年度予算	670,000	135人	210,000	12件	880,000
					(前年比 100.5%)

※70周年記念事業OB負担金を同時に依頼するため現状維持で見込む。

○ 平成27年度 菅平遠征合宿

今年は、怪我人等もあり、残年ながら1年生1人、2年生7人、3年生5人の計13人での参加となり、相手チームから最低でも2人を借りての試合となるどころでしたが、急遽、山口（茨城大4年）、伊藤（國學院大3年）、後藤（法政大3年）の3若手OBが参加してくれることになり、なんとか単独チームで試合をこなすことができました。

若手OB3人は、最初は避暑方々優雅に参加するはずでしたが、怪我人が出たこともあってほぼフル出場となり、うち2人は当初2泊3日の予定を1日延長し、最終日まで菅平に残ってくれました。（感謝！！）

その他OB会からは、尾又会長、益子、吉野、木下が参加。途中4日（火）にはOB兼父母会の志賀夫妻、5日（水）にはOB柴田一家が応援に駆けつけ、3年間皆勤賞の小宮父母会長等みんなで現役部員を激励・応援してきました。

今年の菅平は例年になく暑さや日差しが厳しく、また夜には激しい雷雨もありましたが、練習・試合には特に支障なく、さすがに日陰や朝晩は涼しいので、部員たちは実践経験を十二分に積んで、成長することができたと思います。

【試合結果】

8月2日（日）

午後 v.s. 都立狛江（東京） 5-10

- ・初戦ということもあり攻守が噛み合わず、前半は一進一退の攻防。中盤から敵陣ゴール前に攻め込みましたが、キックチャージしたこぼれボールを拾われ独走を許したりイレギュラーバウンドがあったりと不運が続き0-10、終了間際にラックから15番小川が飛び込み5-10と意地を見せました。

v.s. 高崎商業（群馬） 14-0

- ・1ラウンド空けて仕切り直し、吉野さんや根本先生（附属中監督：今回は引率）のアドバイスを胸に奮闘し、FWが2トライを上げ勝利。しかし、前に出るディフェンスができていないこと、ラックでターンオーバーを狙うか否かの見極めが甘いなど、明日以降に向けての反省材料も明確になりました。

8月3日（月）

午後 v.s. 千葉経済（千葉） 0-10

- ・昨年度も対戦したFWにこだわりを持つチーム。今年もラインアウトモールを押し込まれ0-5、ゴール前スクラムからモールを押し込まれ0-10と、FW周辺での失点が続きます。相変わらず日立一高は、ガツガツ来る相手は苦手なようです。

v.s. 宇都宮工（栃木） 12-7

- ・1ラウンド目よりはFWの圧力が少ない分、余裕を持った試合展開。すっかり得点源になった6番篠田、15番小川のトライで12-0とリード。その後も追加点を狙って果敢にゴール前に攻め込んだところをインターセプトされトライを返され12-7

v.s. 佐野松桜（栃木） 33-0

- ・3ラウンド目の対戦チームは、やや未完成。開始2分にCTB志賀がトライすると、概ね5分ごとにトライを奪い、スコア上は楽勝な展開。

8月4日（火）

午後 v.s. 草加高校（埼玉） 42-21

- ・全体的に小柄なチーム。一発のスピードはないし、タックルも厳しくない。ということで前半からFWBK一体となった攻撃で3連続トライ。楽勝ムードが漂いますが、そこに落とし穴。終了間際にゴール前ペナルティを押し込まれトライ。21-7で折り返します。

後半はモールからリズムを掴んだ相手と一進一退の攻防。終了間際にもゴール前でラックサイドを突かれてトライを喫し、後半だけなら21-14。集中力の欠如からハンドリングミスが多い上、CTBのディフェンスでのコンビネーションが悪く、単に流れただけの相手に簡単にゲインを許すなど、まだまだ課題山積です。

8月5日(水)

午後 v.s. 大泉学園(東京) 15-0

・朝の練習で昨日までの課題を整理し、気合十分で臨んだ試合。結果は・・・開始2分と8分にテンポの良い攻撃でトライを連取。しかし今一歩波に乗りきれず、昨日と同様ハンドリングミスも目に付きます。

v.s. 朝霞高校(埼玉) 21-0

・これまで対戦したチームの中では、体格に恵まれたチーム。技術的には未完成ですが、勢いづかせてはいけないタイプ。3回ほどあったゴール前でのラインアウトやペナルティからのモールへのピンチも学習能力を働かせて未然に防ぎ、CTBのディフェンスも徐々に改善されつつあり、完封勝利を収めました。

8月6日(木)

午前 v.s. 岩槻北陵(埼玉) 40-0

v.s. 栗橋北彩(埼玉) 61-0

・最終日は、2試合ともビッグスコアの完封勝ち。生で見えていないので、なんとも評価できませんが、徐々にチームとして歯車が噛み合ってきたのでしょうか。秋に向けていい感じでスタートが切れそうです。



【2015. 8月 菅平にて】

○ 昨年秋以降の現役部員の戦績

【平成26年度 第94回全国高校ラグビー大会茨城県予選】

2回戦 日立一 0 - 35 東洋大牛久

【平成27年度茨城県高校ラグビー新人大会】

1回戦 日立一 33 - 7 合同C(緑岡、水戸農、水城)

2回戦 日立一 73 - 0 東風

準々決勝 日立一 0 - 103 茗溪学園

5位決定戦 日立一 24 - 0 東洋大牛久

【第63回関東高校ラグビー大会 茨城県大会】

2回戦 日立一 26 - 5 東洋大牛久

準々決勝 日立一 14 - 31 つくば秀英

5位決定戦 日立一 55 - 8 合同A(太田一、水戸農、水城)



【平成26年度 全国予選 v.s.東洋大牛久】



【平成27年度 新人戦 v.s.東風】

【平成27年度第2回全国高等学校7人制ラグビー大会茨城県予選】

《予選Fリーグ》	日立一	49	—	0	土浦工
	日立一	26	—	0	県南（常総B、東洋B、土浦工B）

《カップ（1位）トーナメント》

1回戦	日立一	0	—	7	清真学園
敗者戦1回戦	日立一	7	—	5	水城
決勝戦	日立一	5	—	14	常総学院



【平成27年度 関東予選 v.s.合同A】

○ 「蹴り初め」を開催しました

新春恒例の「蹴り初め」を、1月3日（土）に開催
3日後の1月6日（火）が新人戦の1回戦ということ
もあり、高校生×OBの試合は見送りましたが、中学生
を交えてのタグ・ラグビーや、グラウンド全面を使つての
高校生×OBのタッチフットボールを実施し、OB同士
の10分前後半の試合で締めくくりました。

今年も好天に恵まれ、現役（中学・高校）、OB、
保護者、賛助会員など総勢約150人の方々が集まり



グラウンドは大賑わい、試合終了後は恒例の「うどん入豚汁」が振る舞われました。（右の集合写真に写っているのは
約120人ですが、その他「豚汁」を準備中の父母の方や遅れて駆けつけたOBを含めると、150人は超えていた
ものと思われます。）

現役・OB以外にも、日立ラグビースクールの中学生なども参加し、和やかな雰囲気の中でラグビーを満喫する
ことができました。

毎年のことながら、早朝からの豚汁作りに、OB（第5回卒）大内二郎先輩や多数の保護者の皆様には、お骨折り
をいただきありがとうございました。

○ 第11回OB会長杯ゴルフコンペの開催について

恒例となりました、日立一高ラグビー部OB会の第11回ゴルフコンペを下記の通り開催しますので、奮ってご参
加ください。

1. 日 時 11月14日（土）午前8時30集合
2. 場 所 勿来TAIGAカントリークラブ
3. 費 用 10,000円（昼食代、プレイ後のパーティ費・賞品代含む）

【ゴルフコンペ幹事：笠井 知洋、TEL：080-5057-3065】

○ OB通信

このコーナーは、OBの方々に昔の思い出や近況等のご紹介をいただいています。今回は、橋本晃輝さん（ラグビ
一部前監督）、加藤暁之さんをお願いしました。お二人とも、お忙しい中をありがとうございました。

「凡事一流」 橋本 晃輝 (昭和60年度 第38回卒)

私の場合、現役時代3年間、体育教師(ラグビー部顧問)として5年間直接的に日立一高ラグビー部に関わることができ、良い思い出がたくさんあります。

現役時代、ラグビー部に入り県内常勝チームに籍を置くことになり、周囲の視線を感じながら心地よくプレーすることが出来たこと、鮮明に覚えています。

本気で打ち込むスポーツに出会えて、全国を目指す環境を整えていただき、ラグビーを満喫することが出来ました。注目されて優勝する喜び、敗戦に涙したことなど心の底から純粋に感じる事ができた3年間でした。

時を経て、日立一高に体育教師として赴任し、ラグビー部監督として過ごした日々は現役時代以上に濃密な5年間でした。

スタッフ・選手が揃い、勝負にこだわりシード校に戦い続けることができました。OB諸先輩と保護者の皆さんに支援していただき、直近の目標として「関東大会出場」を目指しチャレンジした日々の中で、今も昔も変わらない日立一高ラグビー部としての「P r i d e」が受け継がれていることを随所に感じる事ができました。

それは、当たり前のことを人並みはずれた情熱で手間隙かけてやり切ることだと思います。1つ1つのことを仕掛けたら仕留める、やり始めたらやり切ることが自信につながり、さらなる高みを目指すモチベーションになるということです。

私は現在、2019年に茨城県で開催される国民体育大会で茨城県が天皇杯を獲得(総合優勝獲得)するための強化事業に携わっています。今年8月の国体関東ブロック大会ラグビーフットボール競技大会(少年男子)に藤田純平君が「全茨城」チームの一員として参戦することを聞き、試合を観戦しました。日立一高の代表として、茨城県代表として奮闘している姿を目頭が熱くなる思いで観ていました。成せば為ることを体現できる選手が日立一高ラグビー部にはいる、ということです。

現役選手諸君には、この「P r i d e」を胸に、さらに日立一高ラグビーを進化させるパイオニアとして、これからも青春を駆け抜けて欲しいと思います。

精一杯がんばれ!!



「ラグビーと日立一高」 加藤 暁之 (平成11年度 第52回卒)

Jリーグ創世記のサッカー人気全盛の時代、県大会でも上位にいく強豪中学のサッカー部に意気揚々と入部し、やれ将来は“読売ヴェルディユース”だ、“鹿島アントラーズユース”だとか仲間内で盛り上がっていた頃から、私は高校ではラグビーを、日立一高ラグビーをやるという事を決めていた。

両親が昔からのラグビー好きで、年末年始は早明戦や日本選手権を当たり前のよう観戦しており、ラグビーが身近な存在だった。入学した中学サッカー部の顧問の先生2人が日立一高ラグビー部OB(額賀先生、綿引先生)で、私のサッカーのプレースタイルを見るやいなや「お前はラグビーだ。日立一高でラグビーをすべきだ。」と言われ続け“ラグビー=日立一高”というマインドが自然と植え付けられていったのも運命的だった。

更には私の3歳上の兄が、私の中学入学と同時に日立一高ラグビー部に入部した事で決定的なものとなった。私は中学校の行事をサボっては兄の試合を観に行き、試合後には雨汗が滴る中、ラグビー部員に混じって一緒に豚汁を食べていた。

ラグビーボールに触れた事もない只の中学生の私が、何の根拠もなく勝手に日立一高ラグビー部の一員になった気になり、日立一高で黒のジャージを着てラグビーをする事が、いつの間にか自分の中で当然の事になっていた。その



頃にはもう日立一高ラグビー部という存在が、いつの間にか自分の人生の一部として明確に組み込まれていた事を今でもはっきりと覚えている。

自分が日立一高に入らずラグビーをやっていなかったらと、ふと考える時がある。高校、大学、社会人とラグビーを続けてきて、特段胸を張れる結果を残してきた訳では無いし、語り継がれるようなエピソードがある訳ではないが、ラグビーのない自分の人生は間違いなく180度変わっていただろう。街中やフィットネスジム等で、明らかにラグビー体型をしている人やカンタベリーを着ている人を見掛けると、妙にソワソワして意識してしまうような特異な感情なんてものにも無縁だっただろう。

学生時代には、先生やOBから滔々と聞かされたラグビーに対する熱い想いも、当時はなかなか響かず半分冷めた感情で受け止めていたものだが、大人になり社会に出てから間違いなく自分の心に響いてくるものであり、その感情の記憶や後悔の念が今の自分の人間形成に大きな影響を与えていると断言できるだろう。

一度きりしかない高校ラグビー。大学や社会に出てからの1・2年は自分の努力次第でいくらでも取り戻せるが、高校ラグビーの3年間だけはそうはいかない。かなり偏った見方ではあるが、例えば花園出場が現実的に到底不可能な目標だとしても、勉学を二の次にして仲間と一緒に愚直に狂ったようにラグビーに打ち込む、そんなスタイルも日立一高ラグビー部は似合っているし、そうしても惜しくない価値があると思う。

社会に出て、初対面の相手でも学生時代にラグビーをやっていたと分かれば、一気に距離が近くなり意気投合するというのはラグビー特有の鉄板の法則だ。それが日立一高ラグビー部だったら、どれほど嬉しい事だろう。

一人でも多く日立一高ラグビー部ファミリーが増えていく事を願っている。

○ 父母の会だより

父母の会会長 小宮 和子さん (小宮 春希君(3年)の母)

日頃より、先生方をはじめ、日立一高ラグビー部OB会の皆様方には、大変お世話になっております。父母の会を代表してお礼申し上げます。

OBの皆様もご存知のように、今年は単独チームとしては、ぎりぎり15人という部員数ではありますが、父母の会一同、部員と同じ熱い想いで応援し、その中でたくさんの感動をもらっています。

父母の会会長とは名ばかりですが、これまでたくさんの方々々に支えられ活動してこられたことに心から感謝しています。

さて、早いもので、3年生は最後の公式戦である全国大会予選を残すだけとなりました。

夏前に部活を引退して早々と受験体制へ変わっていく同級生に、子どもたちは心穏やかではないはずです。それは親も同じです。

それでも“ラグビーが好きだから”“この仲間達とラグビーがしたいから”・・・この強い想いが自分の人生を切り開いていく力となることを、そして自分の可能性を信じているのだと思います。

“たかが部活”“されど部活” 部員たちには、今やりたいことを精一杯がんばってほしいです。素晴らしい何かを手に入れましょう!!

最後になりましたが、OB会の皆様には、これからもご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



【平成27年度 父母会役員
左から川井さん、小宮さん、大谷さん】

○ 全国大会県予選の組み合わせが決定しました。

平成27年度全国大会県予選の組み合わせが下記のとおり決まりました。

第1戦(2回戦)	10月17日(土) 11:40	堀原運動公園競技場	vs 磯原郷英と合同Cの勝者
第2戦(準々決勝)	10月24日(土) 12:50	〃	vs つくば秀英高
第3戦(準決勝)	11月 1日(日) 11:10	〃	
第4戦(決勝)	11月 8日(日) 13:00	ケーズデンキスタジアム水戸	

第1戦（2回戦）を突破すれば、つくば秀英高との対戦です。昨年は1・2年生中心のチームということもあり、経験の差が出て、第1戦で0-35と東洋大牛久に敗れましたが、最後まで全力で戦い切りました。

皆さんの声援が、部員への大きな励みになります。どうか、多くの方々がグラウンドにおいでいただき、激励してくださいようお願いいたします。（組合せ等の詳細は、OB会ホームページをご覧ください。）

○「誌上広告」について

OB会の財政安定化をはかるため、今年度もOB会員等が経営する会社等の広告を掲載しています。（次頁参照）
広告料は年1回発行で1口1万円以上ですが、12人のOBとOB会役員・父母の会の皆様から、合計218,000円のご協力をいただきました。

ご協力をいただいた皆様には、この誌上をお借りして厚くお礼申し上げます。

○「創部70周年記念事業 OB等負担金」のご協力について

冒頭の、学年幹事会結果報告でもお知らせしましたとおり、OB負担金は、9月18日現在で249万円の納付をいただいておりますが、今後も、事業の成功に向けてご協力を呼びかけ、さらなる上乗せを目指してまいります。
つきましては、OB・関係者の皆様にはご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| 1 金額 1口10,000円 | 40歳未満の方及び賛助会員等：1口以上 |
| (記念事業実施日現在の
年齢を基準とします。) | 40歳以上65歳未満の方：2口以上 |
| | 65歳以上の方：1口以上 |

2 振込先等

(1) ゆうちょ銀行

口座名：茨城県立日立第一高等学校ラグビー部OB会

・口座間（通帳から） 記号：10640 番号：24379601

・他金融機関から 【普通預金】 店番：068 口座番号：2437960

(2) 常陽銀行日立支店

口座名：日立一高ラグビー部OB会 会長 尾又篤

種別：普通預金 口座番号：6827091

※ 銀行窓口で振り込む際は、事務処理の円滑を図るため、年会費振込み時と同じ要領で「氏名」の前に第何回卒かわかるよう、卒業回次を英数字で記入してください。

(例) 15 若葉 一郎 (15 ワカバ イチロウ)

※フリガナにも卒業回次を記入してください。

(「卒業回次」は本通知の宛名シールの名前の脇に()書きで表示)

※ OB等負担金は記念式典の受付でもお預かりしますし、ご都合の良いときに随時お振込みいただいても結構ですが、事業の準備を進める上で一定の資金が必要になりますので、できる限り事前にお振込みくださるようお願いいたします。

日立一高ラグビー部OB会報 第18号

発行責任者：幹事長 木下 俊雄 (昭和54年度 第32回卒)

事務局長 金澤 勉 (平成4年度 第45回卒)

問合せ先：〒317-0065 日立市助川町3-7-4 木下俊雄 【電話】090-7846-8078

石井米店

店主 石井 博美

(昭和41年度 第19回卒)

〒318-0021 高萩市安良川270番地

電話: 0293-22-3157

茨城クリーン有限会社

代表取締役 夏井 一郎

(昭和37年度 第15回卒)

〒310-0804 水戸市白梅3丁目10番5号

電話: 029-231-7741

株式会社岡部工務店

代表取締役 岡部 英明

(昭和51年度 第29回卒)

〒316-0003 日立市多賀町2丁目10番7号

電話: 0294-36-1681

尾又運送株式会社

代表取締役 尾又 彰彦(平成2年度卒)

取締役会長 尾又 篤(昭和36年度卒)

〒316-0035 日立市国分町3丁目11番7号

電話: 0294-36-2856

有限会社 川西砕石

常務取締役 杉浦 巖夫

(平成7年度 第48回卒)

〒316-0001 日立市諏訪町1275番地の2

電話: 0294-33-0359

株式会社 カントウスプレー

代表取締役 本田 浩一

(平成2年度 第43回卒)

〒317-0054 日立市本宮町3丁目32番12号

電話: 0294-22-0807

秋光電気工事株式会社

代表取締役 秋山 啓市

(昭和49年度 第27回卒)

〒316-0003 日立市多賀町1丁目20番22号

電話: 0294-36-1987

鈴菊商店

代表 鈴木 真治

(平成2年度 第43回卒)

〒319-1701 北茨城市平潟町293番地

電話: 0293-46-5110

株式会社トップペイサーピス

代表取締役 後藤 秀次郎

(昭和41年度 第19回卒)

〒272-0144 市川市新井3丁目15番28号

電話: 047-396-7176

肉の登利要 日立店

店主 古口 利博

(昭和39年度 第17回卒)

〒317-0073 日立市幸町2丁目8番14号

電話: 0294-21-0971

弁護士法人 萩原総合法律事務所

代表弁護士 萩原 慎二

(平成4年度 第45回卒)

〒308-0041 筑西市乙828番地の3

SATOビル2階

電話: 0296-48-8875

村山商店

代表 村山 功

(昭和42年度 第20回卒)

〒319-1702 北茨城市大津町2731番地1

電話: 0293-46-0172

日立一高ラグビー部OB会 役員会

会長 尾又 篤 ほか

(昭和36年度 第14回卒)

日立一高ラグビー部 父母の会

会長 小宮 和子

(ほか 保護者一同)

私
た
ち
は、
日
立
一
高
ラ
グ
ビ
ー
部
を
応
援
し
て
い
ま
す
!